

## 大規模通所介護施設「減算」を考える

夢のみずうみ村 代表 藤原 茂

## 1. 施設の設立経過

平成12年11月 特定非営利活動法人 夢の湖舎 設立  
 平成13年9月 夢のみずうみ村山口デイサービスセンター、夢の湖村居宅介護支援事業所 開設  
 平成16年10月 株式会社 夢のみずうみ社 設立  
 平成17年10月 夢のみずうみ村防府デイサービスセンター 開設  
 平成18年12月 小規模多機能型居宅介護事業所夢ハウス仁井令 開設

## 2. 事業資金の捻出等

## (1) 山口デイ

山口デイサービス開設資金 銀行借入金 9千4百万円  
 平成15年増設時 銀行借入金 2億8千万円  
 現在銀行借入金 3億5千万円 (平成20年3月31日現在)

## (2) 防府デイ

防府デイサービス開設資金 銀行借入金4億3千万円  
 株式会社資本金 (設立時 1,000万円、増資4回、現在 4,260万円)  
 現在銀行借入金 4億6千万円 (平成20年3月31日現在)

## 3. 施設規模と定員増の経過

## 山口デイサービスセンター

定員 25名開設 (平成13年9月)	敷地面積 (16613平米)	床面積 (253.18平米)
定員 35名 (平成14年2月)		
定員 40名 (平成14年8月)	増設 敷地面積 (16613平米)	床面積 (1152.68平米)
定員 50名 (平成15年2月)		
定員 60名 (平成15年8月)		
定員 70名 (平成16年1月)		
定員 75名 (平成16年5月)		
定員 85名 (平成16年7月)		
定員100名 (平成16年10月)		
定員120名 (平成17年3月)		
定員100名 (平成19年7月)		

小規模デイ (15名) 通常規模デイ (100名) に変更  
 定員115名: 床面積、2981平米、敷地面積16613平米

## 防府デイサービスセンター

定員 40名開設 (平成17年10月)	敷地面積 (3141平米)	床面積 (2435平米)
定員 50名 (平成17年11月)		
定員 60名 (平成18年1月)		
定員 70名 (平成18年7月)		
定員 80名 (平成18年12月)		

定員 90名 (平成19年6月)  
 定員 100名 (平成20年1月)  
 定員 110名 (平成20年9月)

#### 4. 利用者通所エリア (市町村)

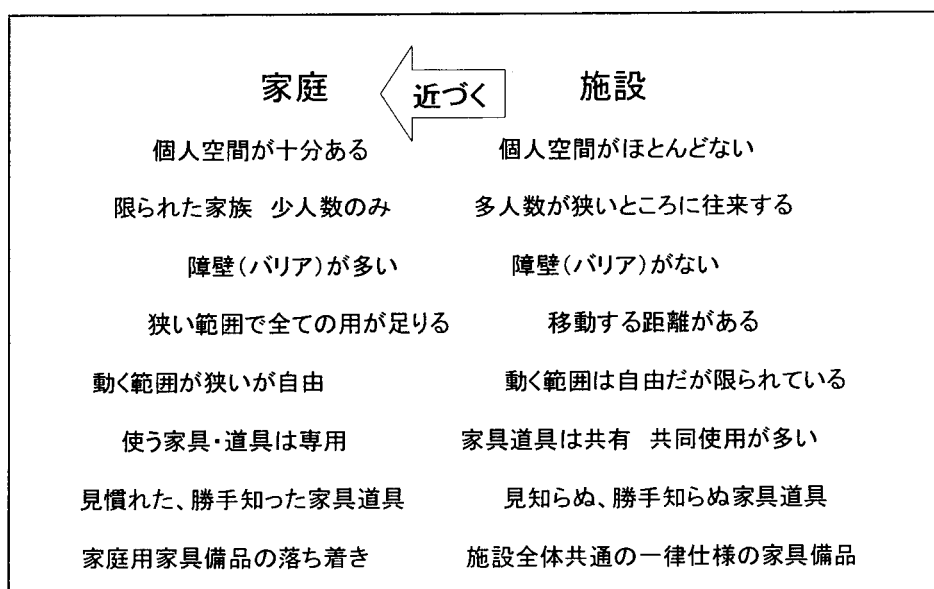
山口デイサービスセンター 山口市、防府市、萩市、長門市、下関市、美祢市、山陽小野田市、阿東町  
 防府デイサービスセンター 防府市、山口市、周南市、宇部市

#### 5. 職員採用と離職の経過

	雇 用				離 職			
	看護	介護	事務	給食	看護	介護	事務	給食
山口デイ								
13年度	1名	8名	0名	1名	0名	0名	0名	0名
14年度	0名	3名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
15年度	2名	4名	1名	3名	0名	0名	0名	2名
16年度	0名	11名	0名	0名	0名	2名	0名	0名
17年度	1名	10名	1名	0名	1名	9名	0名	1名
18年度	1名	5名	0名	2名	0名	2名	1名	1名
19年度	0名	5名	2名	2名	1名	1名	0名	0名
20年度	2名	5名	0名	0名	2名	4名	1名	0名
防府デイ								
17年度	4名	9名	2名	4名	3名	0名	0名	0名
18年度	4名	10名	2名	2名	2名	3名	0名	1名
19年度	1名	11名	1名	2名	1名	2名	1名	2名
20年度	0名	12名	0名	0名	1名	7名	0名	0名

#### 6. プログラム運営方式

(1) 緊張を生まない環境づくり (家庭仕様)



(2) 社会で暮らすために、バリアありのすすめ

重要事項説明書・個人情報共有の同意書

特 記 事 項	夢のみずうみ村には、以下のような障壁（バリアー）があります。 <u>階段・狭い通路などによる転倒の危険、火・機械・道具を使う危険等</u>
	ご家庭において遭遇される可能性のある、これらの危険性を克服するための方法を体験・学習して頂くことをねらって、障壁（バリアー）アリーの環境設置をしています。
	不幸にして事故が発生した場合は、以下の損害賠償責任保険等を適応させて頂こうと考えております。 なお、当施設では以下のとおりの賠償責任保険に加入しています。
	・保険名：損害保険ジャパン 住宅サービス事業者賠償責任保険   ウォームハート ・補償内容：身体・財物共通   1 事故限度額   1 億円 管理財物           1 事故限度額   1 5 0 万円 内現金等           1 5 万円

7. 自己選択・自己決定方式のプログラム

<p>&lt;重度の方&gt;</p> <p><b>マンネリ is best</b></p> <p>いつもの場所 施設全体の予定で動く 決まったいつものメニュー いつものなじみメンバー いつもどおりのやり方</p>	<p>&lt;中度・軽度の方&gt;</p> <p><b>自己選択・自己決定方式</b></p> <p>好みの場所 不特定の場所 個々に自分で予定を立てる 好きなメニュー いろいろな人と関わる 自己流のやり方でいい</p>
---	---

8. 「宅配ビリテーション」で 家族を巻き込み元気に暮らす

- ・ 自信のお持ち帰り（施設でできた、家庭でも「できそう」）
- ・ 新しい生活技能お持ち帰り（爪きり・洗体・移動・電化製品使用法・パソコン操作など）
- ・ 家庭で使う「もの」お持ち帰り（陶器・ガラス細工・パン・苗など）

## 9. デイサービスにおける評価の実施

“心身機能（精神運動機能）”で評価する

### (1) 興味関心度

どういうことに「意思」が働く（関心がある）かを評価する

< プログラムの自己選択結果の経過を追う >

\* MILKの4つの視点から評価（選択プログラムの合計値を拾う）

\* MILKの分布状況が「興味関心度」

M（身体運動への関心）

I（知的興味、精神運動への関心）

L（自身の健康状態への関心）

K（注意力・持続力への関心）

### (2) 自己選択度

自主性・積極性の程度を評価する

自己選択自己決定評価（第三者評価）	
もっとも観察できる状態で評価します	
自己選択度	自己決定度
評価点	評価点
3	5
自分で可	自力で活動している（必要な支援等を自ら依頼できる）
2	4
指示・援助を受け れば自分で決定	見守り・声掛けの支援があれば 自力で活動している
1	3
第三者の決定に依存	わずかの直接介助を得て活動している
	2
	相当の直接介助を得て活動している
	1
	安静にすることが主体、全介助ですごす

\* カンファレンスで 個別に スタッフ全員が協議して決定します

### (3) 活動遂行度

選択したプログラムをどの程度自立して実施できるかを評価

### (4) プログラム選択量

1日活動予定の MILK 量を指標化する

### (5) プログラム実施量

1日の活動で実施した MILK 量を指標化する

### (6) 介助状況

デイサービスでの活動項目別にどの程度の介助を要するかを評価する（している活動表）